

田中 子育てに関する環境はとても重要ですね。市のサポートやコミュニティなどの場があることで、女性は心強く思い、元気が出ますし勇気が出ます。

市長 子育ての環境が充実することで安心、そして安定して仕事をすることができますし、企業にとっても戦力としてメリットがありますね。

田中 それぞれの状況に応じた子育ての環境があることが理想だと思います。

市長 津市の待機児童は毎年4月1日時点ではゼロなのですが、10月ごろになると100人ぐらい出てきます。この3年間で保育所の定員を355人増やし、解消に努めているところですが、保護者の皆さんのニーズに合った子育てを支援していく地域にしていきたいと思っています。

田中 とても魅力的なお話ですね。これから津市で子育てをする若い人たちのためにも、支援の輪を少しずつでも広げていただきたいと思います。それと、少し元気がなくなっていた津市の街並みにも、少しずつ良い兆しがあると聞いていますので、この2～3年が楽しみだと思っています。

市長 昔のにぎわいを取り戻したいというのは私も同じ気持ちです。ただ、昔の街をそのまま取り戻すというわけにはいきません。そこで津センターパレスに中央公民館、まん中子ども館、まん中老人福祉センター、そして障がい者相談支援センターの4つの公共施設を集めました。年間9万人にも上る皆さんがこれらの施設を利用されることになり、これにより中心市街地に少しずつ人の流れが戻りつつあります。またこれらの施設を利用された人には、周辺の商店街や店舗でさまざまなサービスを受けることができるチケットをお渡しすることも行っていますし、これからますます元気になると思います。

田中 ふるさと津に新たな活気が戻ることは、とても素晴らしいですね。

市長 もう1つは、国道23号の西側に証券会社や銀行の本部ビルなどの建設が進むなど、新たなオフィス街が形成されつつあります。今の時代に合った新しいにぎわいを取り戻したいと思います。

田中 そのような新しいにぎわいが作り出されるというのは、とてもうれしいですし、これから



の津市が楽しみになりますね。

市長 今日、対談している三重テラスでは、津市をはじめ県内の物産品がたくさん販売されています。東京の皆さんに三重県のものを知っていただき、そしてこれは良いと思っていただき、これもマーケティングの1つですね。

田中 まさにそうですね。こういった商品に触れることで津市や三重県を知ることになり、これをきっかけに三重を訪れてみようと思う人は必ず増えていると思います。



市長 最後に、ふるさと津に対する想いを願います。

田中 今日は新しい津の街をつくっていくというお話をお伺いして、とてもワクワクした気分になりました。東京と津で相互に情報を交換し合い、津がますます光り輝き、多くの方から興味を持たれ、また暮らす人々が楽しくなるような街づくりに私も寄与したいです。

市長 本日は、ありがとうございました。

田中 ありがとうございました。

◆お知らせ◆

市長対談は、津市ホームページ・市長の部屋の市長対談でもご覧いただけます。

HP 津市 市長対談

検索